



加久藤小学校だより

発行日

令和5年 6月16日(金)

文責：校長 赤崎 好次

春季大運動会、無事終了!



【1年生はじめの言葉】



【エール交換】



【5年生団技】



【1年生徒走】



【全校リレー(男子)】



【全校リレー(女子)】



【6年生親子団技①】



【6年生親子団技②】



【優勝赤団!】

今年度の運動会は、5月20日(土)に実施しました。

当日は素晴らしい天気にも恵まれ、大きな事故やけが等もなく無事終了することができました。

今年度の運動会は、参観者の制限を行いませんでしたので、多くのご家族や地域の方々に見ていただいたのではないかと思います。

今年度の運動会は、「子ども主体の運動会」を一つのテーマとして取り組みました。各団のリーダーをはじめ、4年生以上で行う各係(出発合図や決勝審判、用具準備等)も、「自分達で考えて動く」ことをがんばりました。また、6年生にとっては、小学校最後の運動会ということで、「親子団技」を入れたり、全校児童による「えびの音頭」もプログラムの中に入れたりしました。ご覧になっていかがだったでしょうか?

保護者の皆様には、運動会終了後、アンケートをお願いしました。

今年度の運動会の成果と課題をしっかりとまとめ、次年度へ繋げていこうと思います。

運動会実施にあたって、様々な形でご協力いただきました保護者の皆様、応援していただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。

裏面もご覧下さい

子ども達がトラブルに巻き込まれないように! また巻き込ませないように!

SNS（フェイスブック、ライン、ツイッター等）はうまく使えばコミュニケーションツールとして便利ですが、使い方を間違えると知らぬトラブルや犯罪に巻き込まれるリスクがあります。

総務省の「令和2年通信利用動向調査」によると、6～12歳の子どものうち42.5%がスマートフォンを保有しており、うち37.6%がSNSの利用をしているそうです。

警察庁生活安全局少年課の「令和2年における少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」によると、SNSに起因する事犯の被害児童数は1819人もいるとのことです。

どのような事例があるのか一部紹介します。(本校で起こったものではありません。)

誹謗中傷

子ども本人が保有するスマートフォンがなく、保護者のスマートフォンを利用していれば安心だと思える方がいるかもしれませんが、そうとは限りません。親のスマートフォンを利用してメッセージアプリなどのSNSを利用していても、内容まで確認しない（できない）保護者もいるでしょう。あるときから、子どもの様子がおかしいからとチェックしてみると、子どもをからかうような内容や嫌みなど、誹謗中傷がされていた事例があるとのことです。

仲間外れ

日常生活できっかけができ、SNSで仲間はずれにされてしまうケースもあるとのことです。友達同士のなかでも、輪の中心にいる「リーダー格」の子どもがいることもめずらしくはないとのこと。その子が実生活のなかで誰かにいじわるをしている現場を見てしまい、注意をした子がラインのグループで仲間はずれにされてしまうこともあるようです。

上記以外にも、「高額課金」や「児童ポルノ」等、犯罪に巻き込まれる事案も多いと聞きます。

このようなSNSトラブルの対策として、まずは家庭でのルール作りが大切とのことです。例えば、夜ごはんのあとは使わない、使っても良いのは〇時～〇時まで、食事中はテーブルに出さないなど、スマートフォンの使用時間のルールを作ることが様々な問題を未然に防ぐことにつながるようです。また、自分の部屋にスマートフォンなどを持ち込まないというルールを作るのも有効とのことです。保護者の見えるところでのみスマートフォンなどの利用をOKにすれば、知らない人と通話したり自撮りを送ったりといったリスクにつながる行動を未然に防ぐことができます。子ども達がトラブルに巻き込まれないように、また子ども達をトラブルに巻き込ませないように、ご家庭での指導をよろしくお願ひいたします。

家庭教育学級開級式



加久藤小中学校合同による本年度の家庭教育学級開級式を5月29日（月）に行いました。

第1回目の講座は、人権カルタの体験を通して、人権について学ぼうというものでした。5名のえびの市人権擁護委員の方々にもお越しいただき、人権カルタを通してそれぞれが人権について考えるよい機会となりました。今年度も積極的なご参加をよろしくお願ひいたします。

農家のおじちゃんと語る会



毎年恒例の「農家のおじちゃんと語る会」（5年生対象）が今年度も5月31日（水）に行われました。「イチゴ団地」→「康卵の里」→「白鳥育苗所」→「野菜集荷場」の4カ所を見学し、農業に対する興味関心を高めました。各見学場所では、丁寧な説明だけでなく、お土産までいただき、本当に有り難く思ったところです。関係者の皆様に深く感謝申し上げます。